

地域を創る 青年海外協力隊

～「青年海外協力隊帰国者の意識等に関する調査研究」から考える～



2022年

1月31日(月) 16:00～18:00

会場：オンライン配信／参加費：無料

お申込みURL：

<https://forms.gle/Yff1r49N9KPjSGP5A>

◆メールにてお申込みいただくことも可能です。

1. お名前 2. 所属先 3. 電話番号をご記載ください。

申込先：event@sojocv.or.jp



*新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、今後延期させていただきます場合があります。

プログラム

1. 16:10～16:30

「青年海外協力隊帰国者の意識等に関する調査研究」報告書の概要について

(独)国立青少年教育振興機構 青少年教育研究センター 調査研究アドバイザー
大嶋 尚史 氏

2. 16:30～17:40

パネルディスカッション

「協力隊経験者は街を育てているか」



明石要一氏
(一社)協力隊を育てる会
理事・教育学者



尾木直樹氏
(尾木ママ)
教育評論家・
法政大学名誉教授



東恵理子氏
株式会社
東美濃ビアワークス
代表取締役社長
元青年海外協力隊員



大西かおり氏
NPO法人
大杉谷自然学校校長
元青年海外協力隊員



コーディネーター
村上徹也氏
独立行政法人
国立青少年教育振興機構
青少年教育研究センター長

3. 17:40～17:50

令和の時代における JICA 海外協力隊の方向性について

(独)国際協力機構 青年海外協力隊事務局 事務局長
小林 広幸 氏

「自らの意思で開発途上国に赴き、協力活動に取り組んだ隊員は、一般成人と比べて資質や能力、価値観や人生観に違いがあるのか」等を明らかにするため、(独)国立青少年教育振興機構教育研究センターでは、(独)国際協力機構(JICA)、(一社)協力隊を育てる会との3者共同で調査研究を進めてきましたが、2020年3月に調査報告書を刊行、同時に調査概要の報道発表が行われました。

調査結果によれば、協力隊参加者は一般成人と比較して、「へこたれない力」「意欲」「コミュニケーション力」「自己肯定感」の4つのカテゴリーに分類される「社会を生き抜く資質・能力」が極めて高いことが明らかになりました。

今、日本の地域社会は、人口流出、外国人との共生等の問題を抱えていますが、更にコロナ禍の重圧が加わりつつあります。

こうした状況の中、多くの帰国隊員が地域を目指し、地域で活躍する姿も増えつつあります。利便性や効率より、豊かな自然や人との絆を大切に、地域の活性化に努めている協力隊経験者の価値と育てる会が果たすべき役割について考えて参りたいと思います。

主催：一般社団法人 協力隊を育てる会 共催：独立行政法人 国立青少年教育振興機構 後援：独立行政法人 国際協力機構(JICA)



地域を創る青年海外協力隊

パネルディスカッション

「協力隊経験者は街を育てているか」

～「青年海外協力隊帰国者の意識等に関する調査研究」から考える～

パネリスト プロフィール

明石 要一氏

一般社団法人
協力隊を育てる会 理事
教育学者



千葉大学名誉教授、千葉敬愛短期大学学長。専門は教育社会学(青少年教育)。大分県姫島村出身。文部科学省中央教育審議会委員、同生涯学習分科会会長、他多数。青少年文化の研究に精力的に取り組み、画一化された従来の教育学を越えて、長嶋茂雄を研究対象とした「長嶋学」を創設する等、ユニークな講義や研究で注目を集める。(独)国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター長時(2015-2018年)に協力隊経験者の意識調査を立案、主導。

尾木 直樹氏

(尾木ママ)

教育評論家
法政大学名誉教授



1947年・滋賀県生まれ。中学、高校の国語教師を22年間務めた後、法政大学教授など22年間大学教育に携わる。臨床教育研究所虹所長として教育・子育てに関する調査・研究、評論活動を続ける。「尾木ママ」の愛称で親しまれ、Eテレ「ウワサの保護者会」やフジテレビ「ホンマでっか!?TV」など多数のテレビ番組で活躍中。「JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト」の審査委員長(中学生の部)も務め、JICAが支援するモンゴルの教育活動現場や協力隊員の活動を視察。

東 恵理子氏

株式会社
東美濃ビアワークス
代表取締役社長
元青年海外協力隊員
(2013年度3次隊/
コミュニティ開発/
バングラデシュ)



北海道でテレビ局の報道記者を経験後、青年海外協力隊でバングラデシュへ派遣。コミュニティラジオ隊員として、バングラデシュ版ラジオ体操「チョルチョル体操」を制作。帰国後、民間会社にて日本各地の地域活性化事業に携わり、2020年4月、岐阜県瑞浪市に(株)東美濃ビアワークスを設立。カマドブリュワリーとして昨年12月よりクラフトビールを製造販売を開始。

大西 かおり氏

NPO法人
大杉谷自然学校校長
元青年海外協力隊員
(1995年度2次隊/
理科科教師/フィリピン)



1972年三重県大台町生まれ。小学生から憧れていた青年海外協力隊に新卒で参加。2001年故郷の廃校に設立された「大杉谷自然学校」にて環境教育プログラムの提供を開始。過疎高齢化の著しい大杉谷地域をフィールドに地域の教育力(自然・人・文化)を活かし「地域の自然観や価値観」を次世代に伝えている。

コーディネーター

村上 徹也氏

独立行政法人
国立青少年教育振興機構
青少年教育研究センター長



大学卒業後、ベトナム難民救護施設(浜松市)、バングラデシュでボランティア参加。1987年日本青年奉仕協会入職の後、ポインツ・オブ・ライト財団(アメリカ)研究員。帰国後、市民コンサルタントとして独立。元日本福祉大学社会福祉学教授。2018年より現職。今年3月に『青年海外協力隊帰国者の意識等に関する調査研究報告』を刊行。

「青年海外協力隊帰国者の意識等に関する調査研究」 報告書の概要について



大嶋 尚史氏

独立行政法人 国立青少年教育振興機構
青少年教育研究センター 調査研究アドバイザー

子ども社会学、教育社会学を専門とし、「子ども」をキーワードとした地域づくりを研究。一般成人と協力隊経験者の比較を中心に本調査と研究を行う。
現在、一般財団法人東京学校支援機構職員。

令和の時代における JICA 海外協力隊の方向性について



小林 広幸氏

独立行政法人 国際協力機構 (JICA)
青年海外協力隊事務局 事務局長

青年海外協力隊(1992年・理科科教師)としてタンザニアで活動。1996年JICAに入構し、資源・エネルギー分野を中心に業務を経験。ルワンダ事務所長、四国センター所長を経て、2019年8月1日より現職。

【お問い合わせ】 一般社団法人 協力隊を育てる会 新春の集い係

TEL 03-5244-5093

FAX 03-5244-5095

E-mail event@sojocv.or.jp

一般社団法人協力隊を育てる会 イベント参加申込に係わる個人情報の取り扱いについて

1. いただいた個人情報は、イベントの開催のために利用させていただきます。
2. 個人情報は、シンポジウム開催のために、参加者の氏名、所属をイベント講師、関係者の方にデータで提供する場合があります。その他、取得した個人情報を本人の同意を得ずに第三者に提供することはありません。
3. 個人情報を委託することはありません。
4. 必要な個人情報が提供されない場合、利用目的が達成されないことがあります。
5. ご本人、またはその代理人からの個人情報の利用目的の通知、開示・訂正・追加・削除、利用停止・消去及び第三者提供の停止のお申出があった時は、速やかに対応いたします。お申出は、下記の【個人情報保護に関する問い合わせ先】までご連絡ください。

【個人情報保護に関する問い合わせ先】

一般社団法人協力隊を育てる会 個人情報保護管理者 事務局長 / 総務部 個人情報相談窓口

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-28-7 昇龍館ビル2階 TEL: 03-5244-5093 FAX: 03-5244-5098